

「よこはま動物園で新たに開始したチンパンジーの飼育展示」

平賀真紀 小川直子 小林和彦 小倉典子 (よこはま動物園)

よこはま動物園では、新たに7頭(雄2頭、雌5頭)のチンパンジーの飼育展示を開始した。彼らのために準備されたのは「チンパンジーの森」。約1500㎡の面積を有する屋外展示場には、高さ15mの高木をはじめとした多種の植物が植えられ、チンパンジーの生息地であるアフリカの森が再現されている。また、来園者が歩く園路にも足跡やベッド、ワッジや糞といったレプリカを配し、まさにチンパンジーの森を歩くような演出がなされている。寝室部分は、チンパンジーの精神面を考慮して、夜間も集団飼育が可能となるように従来型の個室に加えて全頭を収容できる広さの大部屋と、上部を通して移動できる通路が備えられている。導入後、様々な環境の変化に戸惑いが見られたチンパンジー達であったが、徐々に新天地にも慣れ落ち着きを見せてきた。今後もチンパンジー本来の複雄複雌群の維持と、森林で暮らす彼らの生態が再現できるよう、安定した集団作りを心がけ、繁殖につなげて行きたい。